

第1回 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会 議事要旨



■委員からの主な意見

○現行マスタープランの検証結果は、改訂に際しての1つの前提条件になるが、特にハード施策は、未実施であるから一概にダメだということはないと思う。

○委員の皆さんが課題であると考えていることが、アンケート結果にも、表れているのだと思う。

○人口が減っていく中で、住民の力をどのようにして地域の活性化に取り入れていくのかということとを少し考えて頂いた方が良いと思う。

○田辺市においては、庁舎移転によって市役所は広域的にもアクセスしやすくなるほか、広域幹線道路となる文里湾架橋の整備など、白浜町や上富田町との広域的な連携をしていこうということなのではないかと思う。今後の計画づくりなどの取組に期待しており、私達も協力していきたい。

○一番インフラが整っている市街化区域内には、多くの高齢者が住んでおり、相続等で増加が懸念される空地や空き家をどう活用していくのかが問われる。

○郊外開発が進む状況は、コンパクトシティの形成の観点からは逆行しており、一般的には悪い評価になる。しかし、南海トラフ地震による津波災害が懸念されることが背景にあると考え、ある程度の郊外化とともに、現に郊外の幹線道路沿道に都市的な機能を有する施設が立地している状況を認めていかなるを得ないのではないかと思う。

○都市計画マスタープランは、もう少し市民の目に触れやすくなった方が良いのではと思う。また、市民もまちづくりに対して関心を持つべきだと思うが、様々なことが議会や行政の方で決まっているように感じ、もう少し市民参加ができるような雰囲気づくりができれば良いと思う。

○他都市では、まちなかの文化が蓄積している場所で、空き家を活用して古いカフェをやりたい若者がいるとも聞いている。

※その他、会議資料や運営方法をはじめ、都市計画マスタープランの改定に対する市（事務局）への様々なご意見やご要望も頂きました。

■今後の予定

○頂きましたご意見などを踏まえ、改定に向けた取り組みを進めます。